
開講科目名：国際経済論研究 (B) (2単位)

開設年次：1年

開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻

担当者：畑佐 伸英

《授業の概要》

＜授業の目標＞

現在、世界の成長センターとして発展を遂げているアジア経済の状況と動向を理解し、日本企業の対アジア戦略を考えていくことを目標とする。

＜授業の概要＞

日本経済と密接に繋がりを持っているアジア経済に焦点をおいて、アジアの経済発展の歴史や経済危機の経験を学び、今後の社会経済の行方や、日本経済との関係性、様々な課題への対応策などについて考えていく。最後の5～6回を利用して、国別の経済事情やビジネス環境について、アジアの主要な国を取り上げて説明する。この国別の学習の際には、受講者に担当する国を選んでもらい、各自で調査・学習の上、授業時間中に発表してもらう。

＜授業の内容＞

- 第1回 アジア経済の概要
- 第2回 日本経済とアジア
- 第3回 経済成長の理論
- 第4回 アジアの発展の歴史
- 第5回 アジア型成長モデル
- 第6回 アジア通貨危機
- 第7回 金融市場改革と経済開放
- 第8回 地域経済協力
- 第9回 日本企業のアジア進出
- 第10回 モンゴル・朝鮮半島
- 第11回 中国・台湾
- 第12回 ASEAN先進5か国
- 第13回 ASEAN後発国CLMV
- 第14回 南アジア
- 第15回 おわりに

＜評価方法＞

授業への貢献度（50％）と課題発表（50％）を勘案して評価する。

《テキスト》

特定のテキストは利用しないが、以下の参考書を読誦しておくことが期待される。

《参考書》

アジア経済論（ミネルヴァ書房）

アジア開発経済論（文真堂）

アジア経済発展論（文真堂）

中堅・中小企業のアジア進出ガイドブック（中央経済社）

アジア進出ハンドブック（東洋経済新報社）